

令和6年4月1日

国土交通省
東北地方整備局 福島河川国道事務所 郡山国道事務所
磐城国道事務所 三春ダム管理所
北陸地方整備局 摺上川ダム管理所 小名浜港湾事務所
阿賀野川河川事務所 阿賀川河川事務所

福島県内の東北・北陸地方整備局関係 令和6年度(2024年度)事業概要について

福島県内において国土交通省が実施する令和6年度(2024年度)の事業概要についてお知らせします。

〈令和6年度の取り組みのポイント〉

令和6年度国土交通省予算では、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」を3本柱として、令和5年度補正予算と合わせて、切れ目なく取組を進めるために必要な予算が計上されたところです。

福島県内直轄事業における令和6年度の取り組みのポイントは下記のとおりです。

○東日本大震災からの復興・再生の象徴となる国営追悼・祈念施設の整備等について地方公共団体と連携して着実に推進します。

また、災害の自分ごと化を図るべく、東日本大震災の実情や教訓を伝えるための震災伝承に積極的に取り組むとともに、「3.11伝承ロード」の形成を推進します。

○令和元年東日本台風(台風第19号)や令和4年3月福島県沖を震源とする地震災害等、大規模自然災害からの復旧・復興に向けて、インフラの整備を着実に推進します。

○気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めるとともに、インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスの実現等も含め、国民の安全・安心を確保する社会を構築します。加えて、通学路等の交通安全対策を推進します。

○持続的な経済成長の実現を図り、個性をいかした地域づくりと分散型国づくりを推進するため、人流・物流の円滑化・活性化を図る道路ネットワークの整備やその機能を最大限発揮するための渋滞対策等の推進、産業競争力強化のための港湾整備を推進します。

○建設業の「2024年問題」の解決に向け、官民連携による建設業の担い手確保・育成や生産性向上に取り組むべく、インフラ分野におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進等、「東北未来『働き方・人づくり改革プロジェクト』」の進化を図ります。

〈令和6年度 福島県内直轄事業当初予算〉

(単位：百万円)

事業区分		R6年度予算	R5年度予算 (参考)
河川関係事業費	国交省計上分	2,011	2,120
	計	2,011	2,120
道路関係事業費	国交省計上分	18,096	15,067
	計	18,096	15,067
港湾関係事業費	国交省計上分	1,300	1,429
	計	1,300	1,429

※上記のほか、直轄（河川）の災害復旧費として946百万円がある。

※維持修繕関係事業費等は除く。

※工事諸費等は除く。

〈発表記者クラブ〉

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| ○福島県政記者クラブ | ○福島市政記者クラブ | ○郡山記者クラブ |
| ○会津若松市記者クラブ | ○いわき記者会 | ○いわき記者クラブ |
| ○いわき市広報広聴課 | ○南相馬記者会 | |

【問い合わせ先】

◎国土交通省 東北地方整備局

- | | | |
|------------|------------------|---------|
| ○福島河川国道事務所 | TEL 024-546-4331 | |
| 副所長（河川） | 佐藤 克彦 | （内線204） |
| 副所長（道路） | 岩渕 賢一 | （内線205） |
| ○郡山国道事務所 | TEL 024-946-0333 | |
| 副所長 | 野中 渉 | （内線204） |
| ○磐城国道事務所 | TEL 0246-23-2211 | |
| 副所長（改築） | 田中 隆紹 | （内線204） |
| 副所長（管理） | 吉田 光潤 | （内線205） |
| ○三春ダム管理所 | TEL 0247-62-3145 | |
| 所長 | 大河原 正吉 | （内線201） |
| ○摺上川ダム管理所 | TEL 024-596-1275 | |
| 所長 | 三浦 猛 | （内線201） |
| ○小名浜港湾事務所 | TEL 0246-53-7100 | |
| 副所長 | 浅野 宣幸 | （内線302） |

◎国土交通省 北陸地方整備局

- | | | |
|------------|------------------|---------|
| ○阿賀野川河川事務所 | TEL 0250-22-2211 | |
| 副所長 | 越野 正史 | （内線204） |
| ○阿賀川河川事務所 | TEL 0242-26-6441 | |
| 副所長 | 南 健二 | （内線204） |

【令和6年度 福島県内 主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成予定 開通目標 年 度	R6事業費 (百万円)	R6事業内容	頁
●新規事業箇所							
道路	直轄	国道49号 <small>よしまみわ</small> 好間三和防災	いわき市	—	50	調査設計	P1
道路	直轄	国道4号 福島4号交通安全対策 <small>にほんまつ</small> (二本松地区事故対策)	二本松市	—	15	調査設計	P2
道路	直轄	国道4号 福島4号交通安全対策 <small>ふしおがみ</small> (伏拝交差点事故対策)	福島市	—	15	調査設計	P2
道路	直轄	国道6号 福島6号交通安全対策 <small>しんちまち</small> (新地町歩道整備)	新地町	—	27	調査設計	P3
●主要継続事業							
河川	直轄	<small>あががわ</small> 阿賀川 河川改修事業(下流狭窄部改修 <small>ながい</small> 長井地区)	<small>きたかた</small> 喜多方市	R7	(385)	河道掘削、法面工	P4
河川 (砂防)	直轄	<small>たきさか</small> 滝坂地区直轄地すべり対策事業	<small>にしあいづまち</small> 西会津町	R10	(478)	排水トンネル工、護岸工 等	P4
河川	直轄	<small>あぶくまがわ</small> 阿武隈川上流 河川大規模災害関連事業	<small>だて</small> 伊達市、 <small>こおりまち</small> 桑折町、 <small>くみにまち</small> 国見町、福島市、 <small>もとみや</small> 本宮市、 <small>こおりやま</small> 郡山市、 <small>すかがわ</small> 須賀川市、 <small>たまかわ</small> 玉川村、 <small>かがみいしまち</small> 鏡石町、 <small>やぶきまち</small> 矢吹町	R10	(946)	橋梁架替等	P5
河川 (砂防)	直轄	<small>あぶくまがわ</small> 阿武隈川水系 直轄砂防事業(<small>しおのかわ</small> 塩の川第8砂防堰堤)	福島市	R7	(973)	工事用道路整備 砂防堰堤工	P6
河川 (砂防)	直轄	<small>あぶくまがわ</small> 阿武隈川水系 直轄砂防事業(<small>まえかわ</small> 前川第1砂防堰堤)	福島市・ 山形県米沢市	R8	(973)	砂防堰堤工	P6
道路	直轄	国道4号 <small>やぶきかがみし</small> 矢吹鏡石道路	<small>やぶきまち</small> 矢吹町 ～ <small>かがみいしまち</small> 鏡石町	—	100	調査設計	P7
道路	直轄	国道6号 <small>なこそ</small> 勿来バイパス	いわき市	—	2,580	調査設計、支障物移転、 改良・橋梁・トンネル工事	P7
道路	直轄	国道13号 <small>ふくしまにし</small> 福島西道路(Ⅱ期)	福島市	R8 ※1,2	6,250	調査設計、用地買収、支 障物移転、改良・橋梁・ト ンネル工事	P8
道路	直轄	国道121号 <small>ゆのかみ</small> 湯野上バイパス	<small>しもごうまち</small> 下郷町	—	6,020	調査設計、支障物移転、 改良・橋梁・トンネル工事	P8
道路	直轄	国道49号 <small>きたよしま</small> 北好間改良	いわき市	—	420	調査設計、用地買収、支 障物移転、改良工事	—
道路	直轄	国道49号 <small>あいづ</small> 会津防災	<small>やないづまち</small> 柳津町 ～ <small>にしあいづまち</small> 西会津町	—	290	調査設計、支障物移転、 改良・橋梁工事	—

・事業費の()の金額は、以下河川・水系単位の全体額

阿賀川水系(福島県)、阿武隈川水系(福島県)、阿武隈川水系(福島県・山形県)

※1: トンネル工事が順調に進んだ場合

※2: 用地買収が順調に進んだ場合

【令和6年度 福島県内 主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	完成予定 開通目標 年 度	R6事業費 (百万円)	R6事業内容	頁
●主要継続事業							
道路	直轄	主要地方道 なみまくにみ 浪江国見線 伊達崎橋修繕代行事業	こおりまち 桑折町	—	230	調査設計 橋梁補修工事	P9
道路	直轄	国道4号 福島4号交通安全対策 (薄葉交差点改良)	しろかわ 白河市	—	30	調査設計	—
道路	直轄	国道4号 福島4号交通安全対策 (泉崎地区事故対策)	いずみざきむら 泉崎村	—	155	調査設計、用地買収、改良工事	—
道路	直轄	国道4号 福島4号交通安全対策 (国見地区付加車線整備)	くにみまち 国見町	—	202	改良工事	P9
道路	直轄	国道6号 福島6号交通安全対策 (双葉地区事故対策)	ふたばまち 双葉町	—	333	改良工事	P10
道路	直轄	国道13号 福島13号交通安全対策 (北矢野目交差点改良)	福島市	—	20	調査設計	—
道路	直轄	国道13号 福島13号交通安全対策 (中野地区事故対策)	福島市	—	19	調査設計	—
道路	直轄	国道49号 福島49号交通安全対策 (北柳原交差点改良)	あいづわかまつ 会津若松市	—	200	改良・舗装工事	P10
道路	直轄	国道49号 福島49号交通安全対策 (菅沢付加車線整備)	やないづらち 柳津町	—	84	改良工事	—
道路	直轄	国道4号 黒岩地区電線共同溝	福島市	—	39	調査設計、支障物移設、 本体工事(引込連系管路 工事等含む)	P11
道路	直轄	国道49号 一箕町地区電線共同溝	あいづわかまつ 会津若松市	—	228	本体工事	P11
港湾	直轄	おなほま 小名浜港 国際物流ターミナル整備事業	いわき市	R15	1,100	防波堤整備	P12
港湾	直轄	そうま 相馬港 予防保全事業	そうま 相馬市、新地町	—	200	防波堤改良	P12
公園	★ 直轄	国営追悼・祈念施設整備事業	なみえまち 浪江町	R7	1,084	管理棟建築工事	P13

★の事業は、復興庁からの配分事業である。

●道路調査の見直し							
道路	直轄	国道4号 福島北道路	概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)			—	
道路	直轄	国道6号 小名浜地区(林城～飯田)	概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)			—	

位置図の出典:地理院地図に事業箇所等を追記して記載

国道49号 好間三和防災

R6:50百万円

開通予定:—

新規

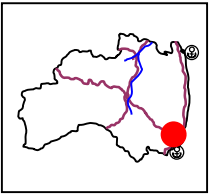
福島県いわき市

道路

直轄

【事業の概要】

国道49号のいわき市好間町～三和町における異常気象時の事前通行規制区間や土砂災害等のリスク及び線形不良箇所の解消を目的とする防災事業です。



【整備効果】

異常気象時における土砂災害及び線形不良箇所を回避し、年間を通じた信頼性の高い道路ネットワークを確保します。



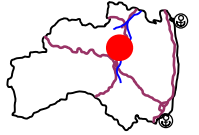
【令和6年度の事業内容】

調査設計を実施します。

国道4号 福島4号交通安全対策(二本松地区事故対策) にほんまつ		R6:15百万円	
		開通予定:—	
新規	福島県二本松市	道路	直轄

【事業概要】

二本松市の当該区間は、交差点先詰まりによる接触事故や追突事故が多発しています。このため、下り線一部改良等による、交差点改良を実施します。



▲安達ヶ原交差点付近の状況

【令和6年度の事業内容】

調査設計を実施します。

国道4号 福島4号交通安全対策(伏拝交差点事故対策) ふしおがみ		R6:15百万円	
		開通予定:—	
新規	福島県福島市	道路	直轄

【事業概要】

福島市郊外に位置する当交差点は、交差点規模が大きく、無理な交差点進入による急減速・急停止による追突事故や右折時事故が発生しています。このため、交差点コンパクト化を実施します。



▲伏拝交差点内の危険挙動

【令和6年度の事業内容】

調査設計を実施します。

国道6号 福島6号交通安全対策(新地町歩道整備)
しんちまち

R6:27百万円

開通予定:—

新規

福島県相馬郡新地町
そうま しんちまち

道路

直轄

【事業の概要】

新地町郊外に位置する当区間は、国道の歩道が一部未整備のため、歩行者の安全が確保されていない状況です。このため、歩道整備を行い、歩行者の安全を確保します。



▲歩道が一部未整備で安全に通行できない

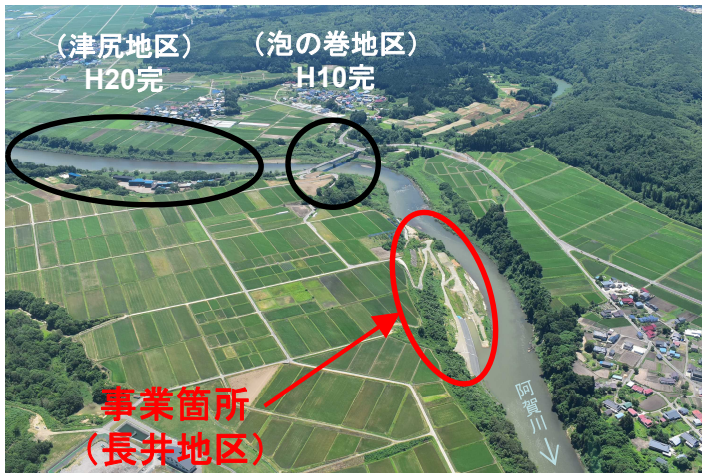
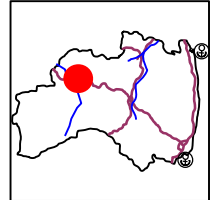
【令和6年度の事業内容】

調査設計を実施します。

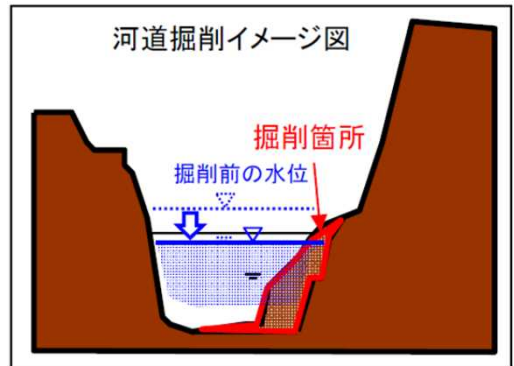
あ が が わ 阿賀川 河川改修事業(下流狭窄部改修(長井地区))		な が い R6事業費:385百万円※	
		完成予定R7	
継続	き た か た 福島県喜多方市	河川	直轄

※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費(工事諸費を除く)を記載

阿賀川下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時に狭窄部上流で水位がせき上がり、水害発生の原因となっています。このため、狭窄部上流の水位せき上げの解消を目的として、継続して河道掘削を実施します。

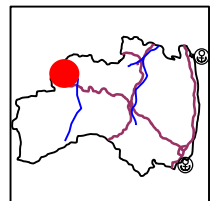


河道掘削により狭窄部上流の水位低下を図り、治水安全度を向上させます。



た き さ か 滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進		R6事業費:478百万円※	
		完成予定R10	
継続	や ま ぐ ん に し あ い づ ま ち 福島県耶麻郡西会津町	河川	直轄

滝坂地すべりの活動が活発化した場合、阿賀川の河道閉塞に伴う湛水により大規模な水害・土砂災害が発生してしまう危険性があるため、重点的に地すべり対策を実施しています。



地すべり対策事業の推進により土砂災害に対する地域の治水安全度の向上を図ります。



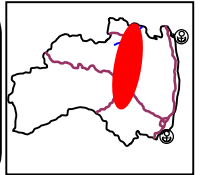
S33年頃
ひきまき
引牧の住居軒下の開口亀裂



H6年頃
そでのざわ
袖ノ沢地区の地割れ

継続	福島県伊達市、桑折町、国見町、福島市、本宮市、郡山市、須賀川市、玉川村、鏡石町、矢吹町	河川	直轄
----	---	----	----

令和元年東日本台風に伴う洪水により、阿武隈川では越水・溢水が発生し、本川上流部や支川では堤防決壊等が発生するなど、流域全体で甚大な浸水被害となったことから、本川・支川の抜本的な治水対策を推進します。

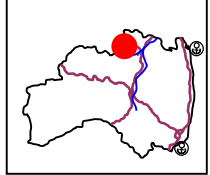


※参考：R5補正予算事業費（7,340百万円）

あぶくまがわ 阿武隈川水系直轄砂防事業(塩の川第8砂防堰堤) しおのかわ		R6:973百万円※	
		完成予定:R7	
継続	福島県福島市	河川(砂防)	直轄

※上記の事業費は、当該水系(福島県・山形県)全体の事業費(工事諸費を除く)を記載

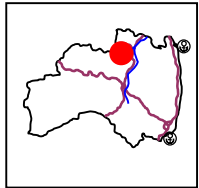
阿武隈川水系では、近年の豪雨等に伴い流域内に多数の崩壊箇所や、溪流等が荒廃し、土砂・洪水氾濫の危険性が高まっていることから、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。
令和6年度は砂防堰堤及び工事用道路の整備を実施します。



あぶくまがわ 阿武隈川水系直轄砂防事業(前川第1砂防堰堤) まえかわ		R6:973百万円※	
		完成予定:R8	
継続	福島県福島市・山形県米沢市 よねざわ	河川(砂防)	直轄

※上記の事業費は、当該水系(福島県・山形県)全体の事業費(工事諸費を除く)を記載

阿武隈川水系では、近年の豪雨等に伴い流域内に多数の崩壊箇所や、溪流等が荒廃し、土砂・洪水氾濫の危険性が高まっていることから、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。
令和6年度は砂防堰堤整備を実施します。



国道4号 やぶきかがみいし 矢吹鏡石道路

R6: 100百万円

開通予定: —

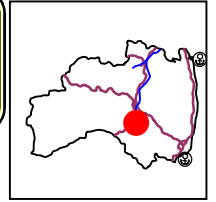
継続

にしらかわ やぶきまち いわせ かがみいしまち
 福島県西白河郡矢吹町～福島県岩瀬郡鏡石町

道路

直轄

やぶきかがみいし
 国道4号 矢吹鏡石道路は、国道4号の交通混雑の解消や交通事故の減少、物流の効率化等を目的とした4車線拡幅事業です。



▲国道4号 通勤時間帯の渋滞状況

矢吹鏡石道路の整備により、交通混雑の解消や交通事故の減少、物流の効率化等が図られます。

国道6号 なこそ 勿来バイパス

R6: 2,580百万円

開通予定: —

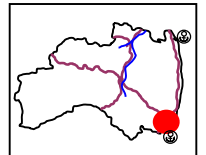
継続

福島県いわき市

道路

直轄

なこそ
 国道6号 勿来バイパスは、災害時の代替路の確保及び交通混雑の緩和等を目的とする延長4.4kmのバイパス事業です。



▲勿来バイパスの整備状況



▲国道6号の交通混雑状況

勿来バイパスの整備により、災害時の代替路の確保、交通混雑の緩和等が図られます。

国道13号 福島西道路(Ⅱ期)

R6:6,250百万円

開通予定:R8 ※1,2

継続

福島県福島市

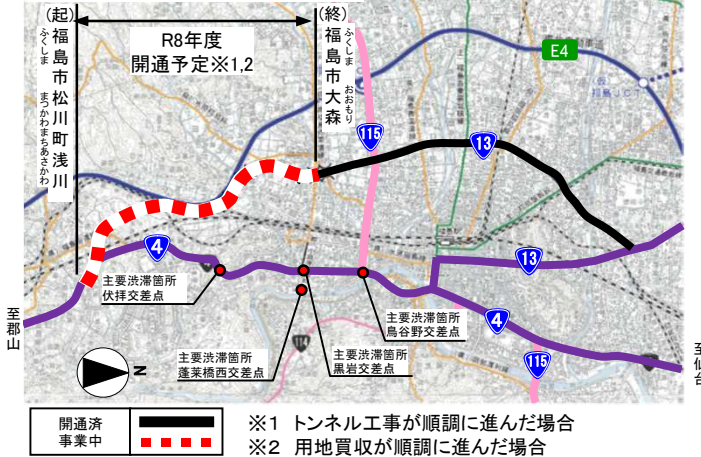
道路

直轄

国道13号 福島西道路(Ⅱ期)は、国道4号の福島都市圏南部の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害に強い道路ネットワークの確保等を目的とする4車線道路です。



福島西道路(Ⅱ期) 延長6.3km



▲国道4号の混雑状況

福島西道路(Ⅱ期)の整備により、交通の分散による国道4号の渋滞緩和、急勾配区間の回避による交通事故の削減が期待されます。

国道121号 湯野上バイパス

R6:6,020百万円

開通予定:—

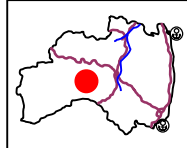
継続

福島県南会津郡下郷町

道路

直轄

国道121号 湯野上バイパスは、会津縦貫南道路の一部を構成し、広域的な連携を推進するほか、南会津地域～会津若松市における通行規制区間や交通隘路区間の回避などを目的とする自動車専用道路です。



▲湯野上バイパスの整備状況

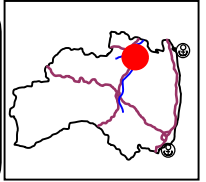


▲国道121号の落石状況

湯野上バイパスの整備により、通行規制区間や交通隘路区間を回避するなど、災害時の代替性を確保します。

主要地方道 ^{なみえくにみ} 浪江国見線 ^{だんざきはし} 伊達崎橋修繕代行事業		R6:230百万円	
		完成予定:—	
継続	福島県伊達郡桑折町	道路	直轄

伊達崎橋は、福島県が管理する(主)浪江国見線の阿武隈川に架かる橋梁であり、橋脚基部でのコンクリートの剥離や一部鉄筋のはらみ出しや破断及び河床洗掘等が確認されているため、国による修繕代行事業として保全対策を行うものです。

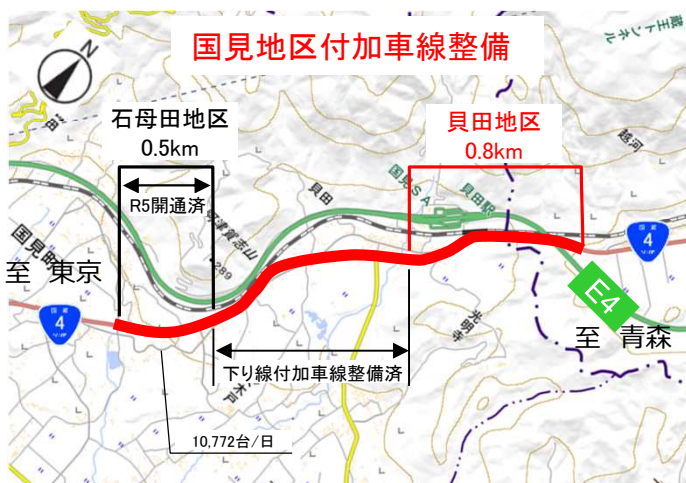
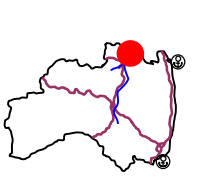


▲伊達崎橋 全景

橋梁保全対策の実施により橋梁の健全度確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。

国道4号 福島4号交通安全対策(国見地区付加車線整備) ^{くにみ}		R6:202百万円	
		開通予定:—	
継続	福島県伊達郡国見町	道路	直轄

国見地区付加車線整備は、急勾配のため速度低下による追突事故が発生し、冬季には走行不能車両による通行止めが発生しているため、付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。



▲一部開通した付加車線の状況(石母田工区)

付加車線整備により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

国道6号 福島6号交通安全対策(双葉地区事故対策)

R6: 333百万円

開通予定: -

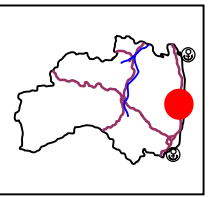
継続

福島県双葉郡双葉町

道路

直轄

双葉町郊外に位置する当区間は、速度低下による追突事故等が発生しています。このため、付加車線等の整備を実施します。



▲通勤時間帯の交通混雑状況

付加車線等の整備により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

国道49号 福島49号交通安全対策(北柳原交差点改良)

R6: 200百万円

完成予定: -

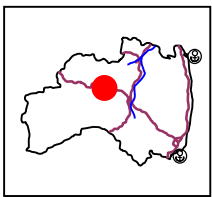
継続

福島県会津若松市一箕町

道路

直轄

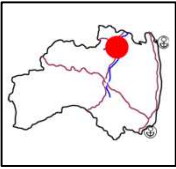
会津若松市街地に位置する当交差点は、食い違い交差形状となっているため右折時事故等が発生しています。このため、右折レーン位置の改良等を行い、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。



右折レーンの位置をずらして、対向直進車両の見通し改善を図ります。

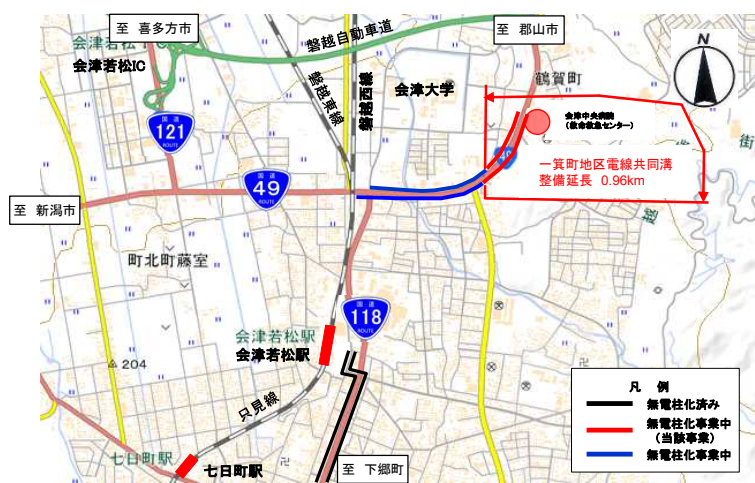
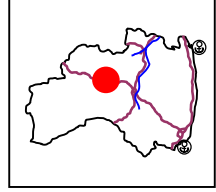
<small>くろいわ</small> 国道4号 黒岩地区電線共同溝		R6:39百万円	
		完成予定: —	
継続	福島県福島市	道路	直轄

くろいわ
 黒岩地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。



<small>いっきまち</small> 国道49号 一箕町地区電線共同溝		R6:228百万円	
		完成予定: —	
継続	福島県会津若松市	道路	直轄

いっきまち
 一箕町地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。



▲ 国道49号の電柱状況

電線共同溝の整備により、災害時における緊急輸送路の確保等が図られます。

おな はま
小名浜港 国際物流ターミナル整備事業

R6: 1,100百万円

完成予定: R15

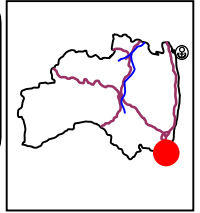
継続

福島県いわき市

港湾

直轄

小名浜港において防波堤の整備を推進し、港内に避泊水域を確保し、荒天時における沖合航行船舶の海難事故の減少を図るとともに、港内の静穏性向上を図ります。



▲防波堤整備の様子(ケーソン※据付)

※ケーソン:防波堤を形成するコンクリートの箱

防波堤整備を推進し、港内の避泊水域及び静穏性の確保を図ります。

そう ま
相馬港 予防保全事業

R6: 200百万円

完成予定: —

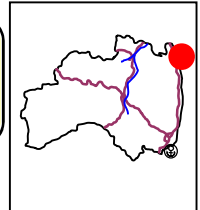
継続

福島県相馬市、新地町

港湾

直轄

相馬港において防波堤(沖)の改良(かさ上げ等)を推進し、頻発化・激甚化する台風に伴う高潮・高波による港湾内の被害軽減を図ります。



▲荒天時における防波堤(沖)での越波の様子

防波堤(沖)改良を推進し、高潮・高波による港湾内の被害軽減を図ります。

国営追悼・祈念施設整備事業

R6: 1,084百万円

完成予定: R7

継続

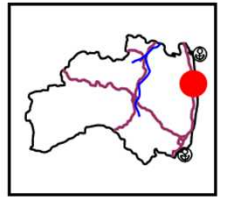
福島県双葉郡浪江町

公園

直轄

東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、福島県との連携のもと、県が整備する「福島県復興祈念公園」の中に、国営追悼・祈念施設を整備します。

令和6年度は、管理棟の建築工事などを実施します。



当施設の整備により、東日本大震災で犠牲となったすべての生命への追悼と鎮魂の場、震災の記憶と教訓を後世に伝承する場などが形成されます。

(参考) 国道399号 伊達橋災害復旧事業

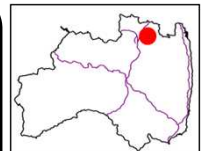
継続

福島県伊達市

道路

直轄

令和4年3月に発生した福島県沖を震源とする地震により被災した福島県伊達市内の「国道399号伊達橋(福島県管理)」については、国土交通省の直轄権限代行により災害復旧事業を推進します。

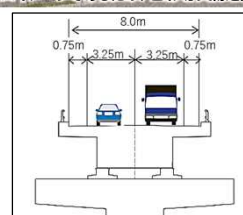


新しい伊達橋のイメージ

至 国道4号



※イメージであるため、色彩等実際と異なる場合があります。



■新しい伊達橋の概要

- ・延長 L = 290m
- ・幅員 W = 8.0m (2車線)
- (橋梁形式のポイント)
- ・地震災害防止のため橋桁を軽量化
- ・橋台・橋脚は既設を利用し補強等を実施

※参考 R5補正 684百万円